

仕 様 書

(品名) 常温収縮チューブ

FB-82-A-1

YS-830-71-01
-02
-03
-04
-05
-06
-07
-08
-09

2021年 8月 制定
2022年 12月 改訂

ヨ ツ ギ 株 式 会 社

1. 一般事項

1.1 適用範囲

この仕様書は、マンホール、ハンドホール及びピット内などに布設される 600V 架橋ポリエチレン絶縁電力ケーブル（600V CV 単心・EM-CE 単心・CVT・EM-CET）の直線接続部の絶縁防水防護に使用する常温収縮チューブ（以下、チューブという。）について規定する。

1.2 製品の呼び方

製品の呼び方は、品名及び種類による。

例：常温収縮チューブ 38sq 用

1.3 種類

チューブの種類は、表 1 のとおりとする。

表 1

型式名称	種類
YS-830-71-01	8sq用
YS-830-71-02	14sq用
YS-830-71-03	22sq用
YS-830-71-04	38sq用
YS-830-71-05	60sq用
YS-830-71-06	100sq用
YS-830-71-07	150sq用
YS-830-71-08	200sq用
YS-830-71-09	250/325sq用

1.4 構成

チューブのキット構成は、表 2 のとおりとする。

表 2

型式名称	種類	常温収縮 チューブ (本)	絶縁シート (枚)	スリーブ (各 3 個)
YS-830-71-01	8sq用	3	3	B8
YS-830-71-02	14sq用	3	3	B14
YS-830-71-03	22sq用	3	3	B22
YS-830-71-04	38sq用	3	3	B38
YS-830-71-05	60sq用	3	3	B60
YS-830-71-06	100sq用	3	3	B100
YS-830-71-07	150sq用	3	3	B150
YS-830-71-08	200sq用	3	3	B200
YS-830-71-09	250/325sq用	3	3	B325

1.5 包装

チューブは 1 組ごとにビニール袋等に入れ、硬質紙箱等におさめ、その外面に品名・種類・製造業者名等を表示し、輸送中損傷することがないように包装する。

1.6 準拠規格

JCAA K1101-2013 600V 架橋ポリエチレン絶縁電力ケーブル用接続部性能基準

2. 品質

2.1 外観

チューブは、傷・ひび割れ等の使用上有害な欠点がないこと。

2.2 性能

チューブは、JCAA K1101「600V 架橋ポリエチレン絶縁電力ケーブル用接続部性能基準」の直線接続部の項を満足する性能であるものとする。

2.3 材料

チューブ：本体の材料は、EPDMを主原料とし、コアリボンは、ポリプロピレンを主原料とする。

絶縁シート：PVCフィルムの片面にブチルゴムを均一に貼り合わせたものとする。

スリーブ：JIS C 2806「銅線用裸圧着スリーブ」に準拠するものとする。

3. 試験

3.1 性能

チューブの性能は、3.3.3～3.3.5の試験方法によって試験したとき、表3のとおりとする。

表 3

試験項目	性能	試験方法適用項
耐電圧試験	3.5kV連続10分間耐え異常がないこと。	3.3.3
	通電温度上昇試験後、1.0kV連続10分間耐え異常がないこと。	
通電温度上昇	通電温度上昇導体温度が105℃となるような通電を3時間、3回行ったときこれに耐え異常がないこと。	3.3.4
気密	98kPa(外圧)の水圧、1時間で内部まで浸水のないこと。	3.3.5

3.2 寸法・構造

付図のとおりとする。

3.3 試験方法

3.3.1 外観試験

完成品について、目視及び手触りにより2.1に規定する事項について調べる。

3.3.2 寸法・構造試験

完成品について、目視及び度器により3.2に規定する事項について調べる。

3.3.3 耐電圧試験

接続部に完成品を取り付けた後、交流電圧3.5kVを印加し、10分間耐えるか調べる。また、3.3.4通電温度上昇試験を行った後、交流電圧1,000Vを印加し、10分間耐えるか調べる。

3.3.4 通電温度上昇試験

接続部に完成品を取り付けた後、ケーブルの導体が $105\pm 3^{\circ}\text{C}$ になるような電流を通電し、3時間保った後通電をやめ、自然放冷させる。これを1回として3回行い、異常が生じないことを調べる。

3.3.5 気密試験

接続部に完成品を取り付けた後、常温にて試料を水没させ、0.1MPaの水圧を1時間加えた後解体し、試料内部への浸水の有無を調べる。

4. 検査

4.1 検査項目及び試料数

検査項目及び試料数は、表4のとおりとする。

表4

検査項目	試料数	ロットの大きさ
(1)外観検査	3点	一連続製造
(2)寸法・構造検査	3点	
(3)耐電圧検査※	3点	
(4)通電温度上昇検査※	3点	
(5)気密検査※	3点	

※の項目は必要と認められたときのみ行う。

4.2 検査方法

4.2.1 外観検査

3.3.1に規定する方法により、抜取方式によって行い、2.1の規定に適合しなければならない。

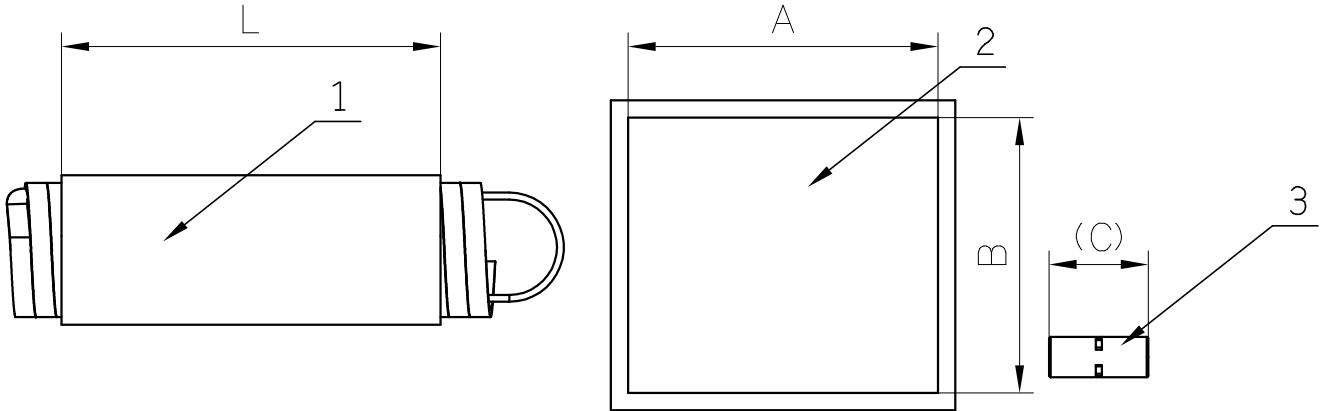
4.2.2 寸法・構造検査

3.3.2に規定する方法により、抜取方式によって行い、3.2の規定に適合しなければならない。

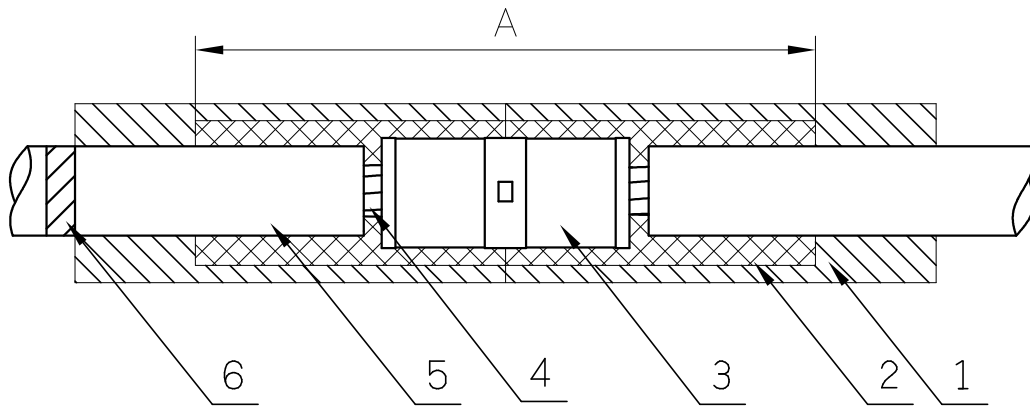
4.2.3 耐電圧、通電温度上昇及び気密検査

3.3.3～3.3.5に規定する方法により、抜取方式によって行い、3.1の規定に適合しなければならない。

以 上



施工時の断面図 (参考)



型式名称	種類	コア内径	L (収縮前)	A	B	(C)
YS-830-71-01	8sq用	21	90	60	50	21
YS-830-71-02	14sq用					26
YS-830-71-03	22sq用	29				
YS-830-71-04	38sq用	26	110	90	80	32
YS-830-71-05	60sq用					36
YS-830-71-06	100sq用	44	115	110	100	38
YS-830-71-07	150sq用					54
YS-830-71-08	200sq用	59	135	135	125	63
YS-830-71-09	250/325sq用					72

番号	名称
1	常温収縮チューブ
2	絶縁シート
3	スリーブ
4	ケーブル導体
5	ケーブルシース
6	目印

備考

1. 寸法は、標準値とする。